



▲身近にある課題を出し合い、共有する参加者

デンマークで学んだこと

2020年登別市市制施行50周年記念

2019年度登別市デンマーク

友好都市中学生派遣交流団帰国報告会

10月4日(金)、市民会館で、2019年度の登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団による『帰国報告会』(市主催)を行いました。

8月9日(金)〜17日(土)の日程で、デンマーク王国に派遣した市内の中学生9人が、食べ物や教育、建物など、それぞれ興味のある分野をテーマに、派遣を通して学んだことや感じたことなどを一人ずつ発表。海外で体験したホームステイ生活や交流で成長した生徒たちの姿に、保護者や学校関係者、地域の方などから、大きな拍手が送られました。

10/4



▲友好都市との絆を深めた2019年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団

暮らしやすいまちを目指して

2020年登別市市制施行50周年記念

登別市協働のまちづくりセミナー

10月6日(日)、亀田記念公園管理棟2階で『登別市協働のまちづくりセミナー』(市主催)を開催しました。

今年度で7回目となる同セミナー。今回は、住民主体で行われた全国のまちづくり事例を学ぶとともに、ごみの分別やペットのふん尿、エコシカの食害など、住んでいる地域で感じている課題について、自分でできる取り組みを考えた参加者約30人は、市民と行政が適切な役割分担のもと、より良いまちを目指す『協働のまちづくり』への理解をさらに深めていました。

10/6

心のバリアフリーを広げる

第68回全道身体障害者福祉大会登別大会

10月6日(日)、市民会館で『第68回全道身体障害者福祉大会登別大会』(北海道身体障害者福祉協会・登別身体障害者福祉協会主催)が開催され、約400人が参加しました。

13年ぶりの登別開催となった同大会。北海道善行賞や北海道身体障害者福祉協会会長表彰の表彰式、胆振圏域障がい者総合相談支援センターるびなす・小林繁市さんの講演のほか、幌別西小学校6年生による発表も行われ、全道各地から集まった参加者は、誰もが安全・安心で住みやすい社会の実現に向けて思いを一つにしています。

10/6



▲授業の一環で学んだ福祉活動について発表する幌別西小学校の児童

命の大切さを考える

登別市『生きることを支えあう』

自殺対策講演会

▲竹内亮平さん(三愛病院医療福祉相談室課長)の講演に聞き入る受講者たち

10月11日(金)、しんた21で、『生きることを支えあう』自殺対策講演会(市主催)を行いました。生きづらさを感じたときは、誰かに話を聞いてもらい、必要な相談につながる事が重要であることから、第1部では、家族や友人など、悩んでいる人に寄り添い、相手の立場に立って共感しながら話を聞く『傾聴』の方法を学んだほか、続く第2部では、音楽を演奏したり聞いたりすることで心身を癒やす、『音楽療法』を体験した約60人の受講者たち。

自殺問題に対する知識を深め、自分や家族などの心の健康について考える時間としました。

10/11

▼電子ピアノによる演奏などを行った皆川宏子さん(音楽療法士)

